

## インフラメンテナンス&マネジメントのためのオール土木学会とりくみ検討のための会議体の設置

### 経緯：

2025年2月26日に発出した「下水道に起因する道路陥没事故をうけての土木学会会長から会員の皆さんへのメッセージ」の趣旨に基づき、インフラメンテナンスとマネジメントのための広い意味での技術に取り組むための対話と議論の場となる会議体を設置する。

### 名称案：

「インフラメンテナンス&マネジメントのためのオール土木学会とりくみ検討会」

### 目的：

- ① イシュー（道路陥没事故をうけて改めて課題視されたインフラメンテナンスとマネジメント）に関連する論点、課題、土木学会内の既存リソース等の可視化
- ② 上記をふまえて、優先的に取り組む事項の明確化と実践の初動

### 体制：

座長は佐々木葉が務める。検討会メンバーは、座長の他にインフラメンテナンス総合委員会他関連の深い委員会、部門担当理事等と相談しながら中心的に活動するメンバーを決定する。

加えて、情報・意見共有のために随時参加するメンバー、および優先的に取り組む事項を実践するメンバーで活動することを想定。

### 活動期間：

2025年3月から準備を始め、2025年4月中に立ち上げ活動を開始する。期間は1年以内とする。

### 想定するアウトプット：

- イシューに関連する多岐にわたる論点、課題、アプローチの可視化
  - 自分ごととして考える接点の発見・自身の専門性や技術の俯瞰的位置付け
- 優先して取り組む事項の実践活動の体制の立ち上げ
  - 実践活動の成果を具体的な広義の技術として社会に発信
- 多岐に関わる複雑な課題に対して多面的な観点からの議論を踏まえて横断的に取り組んでいく会議体の試行